



からし種 春

第 69 号

主なラインナップ

- ◇ P.1 イースター巻頭メッセージ
- ◇ P.2 カザフスタンでの聖書プログラム支援
- ◇ P.3 2021 年度 海外支援計画
- ◇ P.4 手話訳聖書製作報告
- ◇ P.5 国内視聴覚事業のご紹介
- ◇ P.6 国内災害献金支援先決定
- ◇ P.7 後援会ニュース
- ◇ P.8 イースター特別プレゼントクイズ

「誰が墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。ところが、目を上げて見ると、あれほど大きな石がすでに転がしてあった。

—マルコによる福音書 16：3-4（聖書協会共同訳）—

転がされた大きな石

合同メソジスト教会 牧師
公益財団法人 ウェスレー財団 業務執行理事
一般財団法人 日本聖書協会 理事

小海 光



日曜の朝早く、女性たちは墓に向かいます。主イエス・キリストが十字架にかけられ死なれた金曜日からこの時まで、女性たちの心は深い悲しみと痛みで覆われていたことでしょう。でも、当時の埋葬の習慣に従って愛する主イエスの遺体に油を塗らなければ、その一心で墓に向かいます。しかし墓を塞ぐ大きな石をどうしたら転がせるだろうかと悩んでいました。驚いたことに、石はすでに転がされていました。死の匂いを閉じ込めた墓の扉は開けられており、そこにはイエスの遺体はありませんでした。イエスは死の闇を打ち破り、復活され、命の光を持って世に出て行かれたのです。

私たちは、多くのものを心の奥深くに閉じ込めています。罪であり恥であり悲しみであり怒り。この1年、新型コロナウイルス感染症を前に、恐れと孤独という闇の中に自分を長く閉じ込めてきたかもしれません。私たちの心と魂を閉ざしている大きな石を、誰が転がしてくれるのでしょうか。主イエスは私たちの罪によってもたらされた死の闇を破り、私たちが、主にあって新しい命に生きるために復活されたのです。ここに希望があり、喜びがあります。イースターおめでとうございます。

カザフスタン聖書協会 「家庭に聖書を」プロジェクト

日本からの支援額
2020年度 100万円
2021年度 50万円



カザフスタンでは、すべての社会の基盤である「家庭」に聖書を届けるプロジェクトを展開しています。家庭には老若の家族がいて、そこで福音的な価値観が共有されることで、社会に対しても大きな影響を与えることができるからです。

特に昨年は、新型コロナウイルスの拡大防止のため、人々は家庭に引きこもる生活を余儀なくされました。外出自粛の期間が過ぎると、教会は徐々に活動を再開し始めましたが、今までキリストを信じていなかった人たちが神の言葉を喜んで受け入れ、御言葉によって希望を得るさまを多く見ることができました。私たちは、カザフスタンに神の言葉が広まり、益々多くの魂が主に向かって照らされることを信じています。

2020年11月には、新約聖書が届きました。1万冊の予定でしたが、祝福が増し与えられて11,500冊を受け取ることができました。そのうち2,500冊以上がプロテスタント、正教、カトリックのそれぞれの教会に既に配付されました。

2020年度中に、このプロジェクトで製作された聖書

○ロシア語新約聖書 11,500冊

2020年度中に、配付された聖書

○ロシア語聖書 2,200冊
○ロシア語とカザフ語の分冊 4,000冊
○ロシア語とカザフ語の子ども用聖書 3,000冊
○ロシア語新約聖書 2,500冊
合計 11,700冊

総費用の約3分の1が日本からの支援で賄われました。
2021年度も50万円の支援を贈る予定です。
引き続きのご支援をお願いいたします。



聖書を手にするカザフスタンの少女

■ 2021年度 海外聖書協会へ支援計画

- 聖書協会世界連盟を支える「UBS協力金」として **6,174,000円**
 - 最も貧しい国と地域を支える「UBS連帯基金」として **5,000,000円**
 - 現地の聖書普及活動を直接支える「プロジェクト支援」として **6,582,750円**
- 支援総額 17,756,750円**

	国・地域	支援プロジェクト	支援予定額
1	クロアチア	現地聖書協会への支援	¥1,000,000
2	欧州	セルビア	現地聖書協会への支援
3		アルバニア	バイブル・センターの設立支援
4		アルメニア	エキュメニカル・サマーキャンプの開催支援
5	アジア	バングラデシュ	女性と子どものための識字能力開発支援
6		カザフスタン	家庭への聖書配布支援
7		ラオス	ラオ語スタディバイブルの製作支援
8		スリランカ	子どものための電子聖書製作支援
		総額	¥6,582,750

※UBSはUnited Bible Societies（聖書協会世界連盟）の略称。
支援国・支援額は現地の状況により追加・変更になる場合があります。



皆様のお祈りとご支援をどうぞお願いいたします。



Check!



**フェイスブック、ツイッターで
情報発信しています！**



twitter



Facebook



国内外での聖書支援活動の様々な情報を、SNSから詳しくお伝えしています!! ぜひ、フォローしてください。

試行錯誤を続けて、翻訳・制作を進めています。

一般社団法人 日本ろう福音協会 事業部長 矢野 羽衣子

コロナ状況下で在宅勤務体制を施行してから1年。計画通りに翻訳を進められない状況で、なんとかオンラインで翻訳を進める方法はないかとスタッフ一同試行錯誤した1年でした。オンライン会議ツールに慣れる必要があったのはもちろん、オンラインで良質な手話翻訳ができるのか精査する必要もありました。実際に使用してみると、良い点と課題点が浮き彫りになりました。

日本手話に限らず、世界の手話言語は全て「見る」言語です。事務所での対面翻訳の場合は、いわば三次元で翻訳者と手話表現を確認できますが、オンライン翻訳では画面越しになり、情報が二次元になってしまいます。その結果、釈義チェックの面で限界があることがわかりました。また、ネット環境によっても顔の表情や眉の動きなどが見づらく、その場での判断が難しい状況があります。

試行錯誤の結果、初期の下訳段階まではオンラインでの翻訳が可能だという結論に至りました。それ以降のステップは、良質な翻訳をお届けするために事務所に集まって翻訳するため、緊急事態宣言などの社会情勢に多大な影響を受けてしまい、とてももどかしい思いです。

技術面でも、更に時間を要しています。事務所では翻訳者が手話表出した動画を編集者がその場で保存して動画編集に着手できますが、オンライン翻訳では翻訳者が自分で動画を撮影・保存し、それを編集者に共有するという一手間が必要です。一見短時間でできそうですが、塵も積もれば山となる。いつも以上に時間を費やしているのが現状です。

スタッフ間のコミュニケーションでも日本語の文面でのやり取りだと誤解を生じることも多く、翻訳に限らず、改めて弊協会は「その場で」「日本手話で」が大切なのだ実感しました。だからこそ、在宅勤務体制の1年間でも「ダニエル書」や「エズラ記 (1-6章)」を発行できたことをとても嬉しく思っています。ご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

現在もまだまだ計画通りとまではいきませんが、スタッフ一同オンラインも活用した翻訳に慣れてきて今年中の発行を目指して「エズラ記 (7-10章)」「オバデヤ書」「ヨシュア記 (1-12章)」そして待望の「ローマの信徒への手紙 (1-7章)」の翻訳が進められています。少しでも多くの御言葉を日本手話でろう者の皆様に届けられるよう、邁進して参りますので、どうぞ引き続きお祈り・ご献金でのご支援のほどよろしくお願いたします。



オバデヤ書翻訳 (下訳3回目) の様子



エズラ記7-10章 理解評価チェックの様子

キリスト教視聴覚センター・AVACOへのご支援のお願い

一般財団法人 日本聖書協会 視聴覚部 主任 加藤 久絵

日本聖書協会（JBS）の視聴覚部は、キリスト教視聴覚センター・愛称“AVACO（アバコ）”のブランドネームで視聴覚事業を行っています。主に、キリスト教伝道における視聴覚の効果的な活用法の研究、教材制作、アイデア提供を行っている部門です。その中でも、コロナ禍の今、力を注いでいるのが、視聴覚教育に関するオンライン講習会です。

このブランドの芽が1949年に出たときより年に一度、夏にたゆまず行ってきたことのひとつが「キリスト教視聴覚教育講習会」です。しかし昨年、コロナ禍に見舞われました。JBSは、「制限のある今だからこそ、このブランドネームに親しみ、これまで支えてくださっている皆様へ感謝とエールを贈りたい」という思いから、無料オンライン開催としました。2020年8月に「第71回キリスト教視聴覚教育講習会 in オンライン」を開催し、ウェブサイトより3講座を各30日間無料配信しました。テキストの無料ダウンロードや参考書籍のご紹介、Web アンケートも実施いたしました。

同様に、同年11月には、「2020クリスマス講習会 in オンライン」も開催し、2講座を各30日間無料配信しました。

この二つの無料オンライン講習会を開催する中で、費用を思い献金でまかなっていくのかという労いの声をいただきました。また一方で、今現実的に、「学びたい」思いと「参加費用（交通費を含む）を出せる」環境が伴わない現状におられる方々の痛みの声を耳にしました。

そのような皆様の思いをつなぐため「国内視聴覚事業献金」を創設いたしました。キリスト教教育に関わるより多くの方が、経済格差、距離や時間の制限のない環境で視聴覚の学びを受けられるように、この活動をお支えくださいますようお願いいたします。

重ねて、視聴覚の研究・教材の制作には多額の費用が掛かります。多くの方に利用していただくために、利用者の負担を少なくする努力を続けています。皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2021年も、キリスト教教育の場で労されておられるお一人お一人の手や足、目や耳となれるように励んでまいります。

「re-講習会 30days in オンライン」開催のお知らせ

昨年公開した「講習会 in オンライン」を期間限定で再配信いたします。（オンライン無料配信）詳しくは、AVACOウェブサイト（<http://www.avaco.info>）をご覧ください。

◆開催期間・30日間／2021年4月19日（月）正午～5月18日（火）



熊本YWCAに100万円の支援を決定しました

2020年7月に熊本から始まり、全国に甚大な被害をもたらした「7月豪雨」被災地支援のため、2021年2月までに931,751円に上るご献金をお預かりしました。

昨年中より支援先を検討してまいりましたが、この度要請を受け、キリスト教の精神に基づき継続して被災者支援を行っている「NPO法人熊本YWCA」に100万円の支援を送ることを決定いたしました。

熊本YWCAの被災地支援活動

- 人吉市大柿地区における居場所づくり活動
- 人吉市大柿地区における米作りを通じた交流活動
- 人吉市における子どもの居場所づくり事業「九ちゃんクラブ」の支援活動
- 人吉市における被災者となった在留外国人の支援活動

コロナ禍のため県外在住者が支援に向かうことができない中、継続な訪問によって被災者に寄り添った支援を続けています。お贈りする支援金は、支援物資の購入、訪問のための交通費、新型コロナウイルス対策の費用等に用いられます。活動の詳細は同法人のホームページ、Facebookでご覧いただけます。



熊本YWCA ホームページ



FaceBook



@ywcakumamoto

オンライン募金報告会

「2020年度 オンライン募金報告会」が行われました

募金部として初のオンラインイベント「オンライン募金報告会」が12月16日に行われました。東京・早稲田の「AVACO チャペル」から、Zoomを使って生配信し、「点字」「手話」の聖書支援報告、支援先の海外聖書協会が届けてくれた活動報告の動画紹介を行ったほか、聖書クイズなども行い、1時間のプログラムを全国からの参加者とともに過ごすことができました。

報告会から切り取ったいくつかの動画を、YouTube・日本聖書協会チャンネルで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



具志堅総主事の挨拶



募金動画へのQRコード

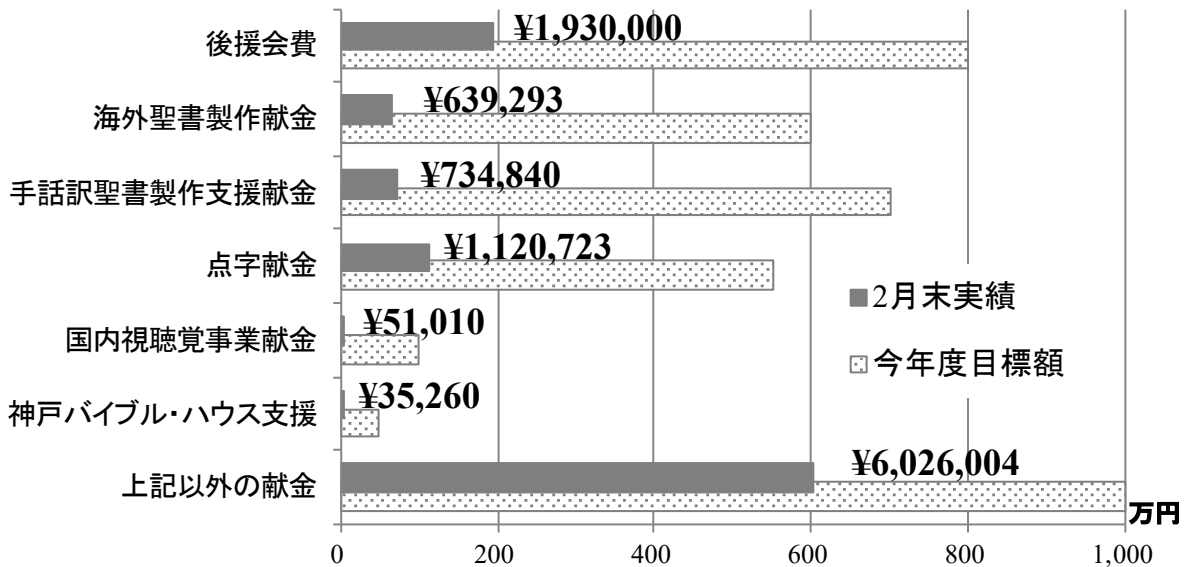
2021 年度 献金状況と新入会員のご紹介

献金累計額 10,537,130 円 (うち後援会費 1,930,000 円)

(2020 年 11 月～2021 年 2 月末 累計)

現在の後援会員総数 2,746 名様

◎ 後援会費及び各プログラムへのご献金状況 (2021 年度目標対比)



◎ 2020 年 11 月から 2 月末までの新入会員 (順不同、敬称略)

皆様、ご入会ありがとうございました！ これからもよろしくお願い致します。

- ・ □□ □□ ・ □□ □□ □□ ・ □□ □□ ・ □□ □□ ・ □□ □□ ・ □□ □□
- ・ □□ □□ ・ □□ □□ ・ □□ □□ ・ □□ □□
- ・ □□ ・ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□
- ・ □□ □□ □□ □□ □□ ・ □□ □□ □□ □□ □□ □□ □□ (計 12)



**クレジットカードで
ご献金いただけます！**



日本聖書協会ホームページから、クレジットカード決済で後援会費の納入、献金ができます。

聖書 募金 クレジット 🔍

で検索下さい。

イースター特別プレゼントクイズ

問題

「ヨハネ福音書」の中で、イエスが葬られた墓の中でマグダラのマリアに「女（婦人）よ、なぜ泣いているのか」と最初に声をかけたのは誰だったでしょうか。



正解された方の中から抽選で10名様に、みんなの聖書マンガシリーズ最新刊『黙示録（レヴェレイション）～心開かれし者の記～』をプレゼントいたします！

※応募方法

クイズの答え、ご希望の商品、お名前と会員番号、電話番号をご明記の上、募金部宛にお葉書かFAX、Eメールでお申し込みください。（住所、FAX番号等は下記をご覧ください。締め切りは**4月30日（金）必着**、正解者多数の場合は抽選の上、プレゼントの発送をもって発表に代えさせていただきます。

★ 68号クリスマスクイズの答え「5節・驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」

募金部から



募金部主任
高橋 章子

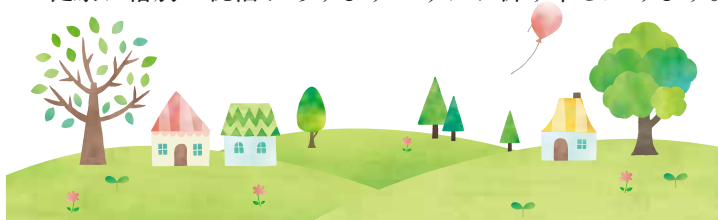
コロナ禍で生活が一変してから、2度目のイースターを迎えることとなりました。昨年はイースターの礼拝を行えなかった教会も多かったと思いますが、今年は感染対策をして、リモート技術も駆使しながら、何とか教会でイースターを祝うことができそうです。ワクチンの接種も始まり、少しずつトンネルを抜けているようにも感じます。

まだまだ自由とは言えないことも多い生活が続きますが、イースターの喜びと復活のいのちの希望に満たされて、歩みを進めたいと思います。

皆様のご健康に格別の祝福がありますようにお祈り申し上げます。



募金部主任
岸岡 宏幸



JAPAN BIBLE SOCIETY
JBS 一般財団法人 日本聖書協会 募金部



〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 Tel: 03-3567-1980 Fax: 03-3567-4436
Eメール: fund-raising@bible.or.jp ホームページ: <https://www.bible.or.jp/>
◆郵便振替 00160-2-18410 ◆銀行振込 三井住友銀行 京橋支店(普通) 6552744
※ニュースレターへのお便り、お問い合わせも上記までお願いします。